

平成29年3月21日
日本生命保険相互会社

国連責任投資原則への署名について
～ESG 投融資の強化について～

日本生命保険相互会社（社長：筒井義信、以下「当社」）は、この度、国連の責任投資原則（Principles for Responsible Investment、以下「PRI」）に署名しました。

PRI は、持続可能な社会の実現を目的とし、機関投資家等が環境（E：Environment）、社会（S：Social）、ガバナンス（G：Governance）の課題を投資の意思決定に組み込むことを提唱する原則です。

PRI という国際的な枠組への署名により、当社取組をグローバルに発信することに加え、生命保険会社として、社会的責任を果たしていることを改めて表明するものです。

当社は、従来より、環境や地域・社会と共生し、経済・企業と安定的な成長を共有していく視点から、環境や社会に資する債券（ESG 債）や、再生可能エネルギープロジェクト等への投融資を積極的に行ってまいりました。

今般、PRI への署名に伴い、当社では「ESG 投融資の取組方針」の策定に加え、新中期経営計画（2017-2020）にて、ESG 債等への投融資 2,000 億円の数値目標設定や、グループを活用した ESG 投融資の実施等を掲げ、ESG 投融資をより一層強化してまいります。

また、これに先立ち、今年 2 月にニッセイアセットマネジメント株式会社（以下、「ニッセイアセット」）と海外現地法人が運用するグローバル株式 ESG ファンドへの投資を実施しています。

引続き、機関投資家として、ESG 投融資を通じた持続可能な社会の形成に寄与してまいります。

以 上

(別紙)

【新中期経営計画（2017-2020）における ESG 投融資に関する主な取組】

| | |
|-------------|-----------------------------|
| 数量目標 | ESG 債等への投融資 2,000 億円※ |
| スチュワードシップ活動 | 投資先企業との対話活動の継続 |
| グループ活用 | ニッセイアセット、海外現地法人を活用した ESG 投資 |
| 事例研究 | ファンド等への投資を通じた先進事例研究 |

※併せて、ESG 債累計投資額 3,500 億円を目指す

【ESG 投融資の取組方針】

| |
|--|
| 当社は、生命保険会社としての社会的責務を踏まえ、資産特性に応じて環境・社会・ガバナンスの課題を考慮した資産運用を行い、環境や地域・社会と共生し、世界経済・企業と安定的な成長を共有してまいります。 |
| 1. ESG をテーマとする債券投資や融資において資金使途が環境・社会課題の解決に資するかといった観点を確認することや、環境・社会に配慮した不動産投資を行うなど、資産特性に応じて ESG 課題を運用プロセスにおいて考慮することに努めます。 |
| 2. 投資先企業との建設的な対話を行う中で、必要に応じて ESG 課題をテーマとした対話を行うとともに、適切なスチュワードシップ活動を実施するほか、対話の中で必要に応じ ESG 課題を含む非財務情報の開示を求めます。 また、債券投資先企業に対しても、必要に応じて ESG 課題をテーマとした対話を行ってまいります。 |
| 3. グループ会社との ESG 投融資ノウハウの共有や、署名企業や業界団体等との情報交換、先進事例の研究等を通じ、ESG 投融資における運用プロセスの共有や改良に努めます。 |
| 4. 当社 ESG 投融資実施状況の公表や、ESG に関する国際的な会議等への参加を通じた意見発信等、ESG 投融資に関する活動内容について積極的な発信を行い、ESG 投融資市場の活性化に貢献します。 |

【ニッセイアセットのグローバル株式 ESG ファンドの概要】

当ファンドは、ニッセイアセットが当社グループの海外現地法人と連携し運用するファンドであり、グループとしての ESG 取組をより一層進めるものとなります。

ESG 投資において業界をリードするニッセイアセットは、2016 年の PRI 年次評価において、包括的評価である「戦略とガバナンス」の項目で 2 年連続最高評価「A+」を獲得しております。

今後も、グローバルなリソースを最大限活用し、ESG 投資の領域拡大を推進してまいります。

| | |
|---------------|--|
| 名称 | ニッセイグローバル ESG フォーカスファンド |
| 運用者 | ニッセイアセットマネジメント株式会社 |
| 投資対象 | グローバル株式 |
| 戦略概要 | 財務情報と非財務情報である ESG レーティングの組合せにより、企業の持続的成長を捉える |
| ESG レーティング付与者 | 北米 : Nippon Life Global Investors Americas, Inc. 欧州 : Nippon Life Schroders Asset Management Europe Limited アジア : Nippon Life Global Investors Singapore Limited |
| 当社投資額 | 50 億円 |

<ご参考>これまでの主な ESG 投融資事例

| | | |
|-------|---|--|
| 環境 | <p>環境に配慮した不動産投資</p> <p>ビルの新築や設備更新の際に CO₂ 排出を抑制する設備の導入を積極的に行っており、日本生命丸の内ガーデンタワーが環境・社会への配慮がなされた不動産として、2014 年度に DBJ Green Building 「five stars」、2015 年度に LEED-CS(テナントビル版)「GOLD」の認証を獲得しています。</p> <p>(2014 年度、2015 年度)</p> |  |
| | <p>パリ市やロンドン交通局のグリーンボンド等への投資</p> <p>両発行体が推進する環境に配慮したプロジェクトに活用されています。</p> <p>(2014 年 7 月、2015 年 4 月)</p> |  |
| | <p>風力発電向けプロジェクトファイナンスへの融資</p> <p>株式会社ユーラスエネルギーホールディングス 100%出資の特別目的会社「株式会社ユーラスエネルギー河津」が静岡県賀茂郡河津町にて実施する風力発電プロジェクトに活用されています。</p> <p>(2016 年 3 月)</p> |  |
| 社会 | <p>世界銀行のサステナブル・ディベロップメント・ボンドへの投資</p> <p>開発途上国の持続的発展を目的とする様々なプロジェクトへの融資案件に活用されています。</p> <p>(2015 年 12 月)</p> |  <p>© Gerardo Pesantes / World Bank</p> |
| | <p>チリ国立銀行のウーマンボンドへの投資</p> <p>同行がチリ国内で推進する女性の社会進出プログラム支援や女性経営者向け融資等に活用されています。</p> <p>(2016 年 8 月)</p> |  |
| | <p>国際協力機構の社会貢献債への投資</p> <p>開発途上国の社会課題の解決（貧困削減・持続的経済成長等）に寄与する事業に活用されています。</p> <p>(2016 年 9 月)</p> |  <p>写真提供：今村健志朗/ JICA</p> |
| ガバナンス | <p>日本版ステewardシップ・コードに関する取組</p> <p>当社では、ステewardシップ活動を行う中で、投資先企業と、経営計画や事業戦略、株主還元やコーポレートガバナンス等、様々なテーマについて対話を行っております。</p> <p>・「責任ある機関投資家」の諸原則《日本版ステewardシップ・コード》に関する取り組み URL：http://www.nissay.co.jp/kaisha/csr/details/unyou/pdf/stewardship_code.pdf</p> | |